

江北町

No.150

平成31年
3月定例会

令和元(2019)年5月1日発行

議会だより



CONTENTS

- 一般質問
- 一般会計及び特別会計
歳入歳出予算審議
- 各常任委員会
- 条例改正
- 編集後記

平成31年度 江北町立 江北小学校入学式

かねまる ゆうき
金丸祐樹 議員



●これからの介護予防事業について ●再度問う、児童生徒の不登校問題といじめ

教育長 個別に丁寧な対応、対策をしていく必要がある

町長 介護予防事業というものでなく、町の事業、町全体で高齢世代が活躍できる仕掛けづくりをしていきたい。

議員 介護予防に関する町民の意識はまだ低く、ご家族が突然介護状態になり困惑する家庭も少なくはない。わが町では現在どのような介護予防事業をされているのか。

福祉課長 本町では介護予防普及啓発事業として元気アップ教室など4教室、地域介護予防活動支援事業としていきいき百歳体操など2教室、それと3つのサロンを行っている。

議員 男性の参加者は全体の2割程度だが、男性の参加を促すにはどういった方法があるか。

福祉課長 住民主体の集いの場などで介護予防に関する地域活動の情報周知を行い、男

性が興味をもてるサロン等を積極的に行っていくきたい。

議員 これからの介護予防事業について町の考えを聞きたい。

福祉課長 高齢者本人へのアプローチだけではなく、地域の中で生きがいや役割を持ち生活できうる居場所や、出番づくりが必要になってくる。これから

は、町の社会福祉協議会、老人会、医療機関、福祉施設などの関係機関と協力・連携を図りながら、全体的な介護予防事業を推進していきたい。



議員 平成29年・30年に「いじめと不登校問題」について質問したが、その後の調査、対策は。

こども教育課長 学校でしているアンケートの内容や道徳の課題については、町内校長研修会で検討をしている。ホームルームの時間についても学校に状況の現状を把握をして

いる。

議員 いじめに関するアンケートは県が年1回、学校側が年2回6月と12月に行っている。

いじめは早期発見が不可欠であり、回数を増やせないか。

教育長 アンケート以外の個別面談や、個別ノート、生活ノートのやり取りなどの機会を作っていくやりかたを

考えており、学校と協議したが、いろいろな機会で行いたいという小学校と、毎月やって

いきますという中学校とそれぞれの考えを尊重してもいいのかなと思う。回数については以前と変わっていない。

議員 アンケートの内容は以前から変わっていない。子ども達の生活環境も昔と今では随分違う。アンケートの内容や回数については今後しっかり協議をしていただきたい。

教育長 不登校の調査、検証についてだが、現在は欠席30日以上が10名。女性の割合が7割を占めている。

来年度については、中学校のビッキールームに常時職員を置いて子供たちがいつでも来れるという状況を作りたいと思っている。学校

支援員も時間を増やしていただいて、子ども達の困り感を少しでも減らすような対策をしたい。

議員 いじめや不登

校は増加傾向にある。様々な要因があると思うが命にかかわる問題でもある。真剣に考えて対応、対策をとる必要がある。

教育長 要保護対策児童委員会、要保護対策委員会や本町の福祉課、民生委員などそれぞれのケースに合わせた会議を行っていき、施策に反映させていきたい。もちろん個別に丁寧に対応していかなければならないと思っている。



ふちかみまさあき
村上正昭

議員



東古川及び支線水路の対策

町長 町民の安全・安心を守る、江北町の基盤を整備するという観点で、県に積極的にお願いをする

議員 東古川堤防の浸食対策として、のり面を覆うブロックマット工法により、平成28年度、29年度に改修工事が施工されているが、平成30年度及び平成31年度以降の計画はあるのか。

建設課長 杵藤土木事務所によると、平成30年度は、予算の都合で改修工事はしない。また、平成31年度以降の年次計画はたてていないが、毎年80メートルから90メートルほどの維持的な修繕のための予算を計上すること。

町長 28年度から取り組んでいたという事業なので、来年度は早期に県に要望を行い、従来どおり施行されるようお願いする。

【堤防改修工事箇所】

- ① 28年度改修
- ② 29年度改修
- ③ 28・29年度改修



③平成28・29年度改修状況



②平成29年度改修状況



①平成28年度改修工事状況

議員 張りブロックとU字溝の損壊対策について

建設課長 県としては、江北町が張りブロックとU字溝が損壊している箇所の優先順位を決めれば、のり面をブロックマットで改修工事を行うときにその箇所を改修すること。

議員 張りブロックとU字溝の今後の改修工事の計画は。



崩れた張りブロック・U字溝



支線水路川床の洗掘対策について

議員 東古川と支線水路を調節する樋管の支線水路側に水とめコンクリート擁壁を設置したが、ブロック基礎を通過して水が流れていることから、水とめの工法を検討することになった。その検討の結果は。

建設課長 ブロック基礎から水が浸透している状況は確認できなかった。

議員 経過を見ると、うが、すでに2年を経過している。県にはこれから積極的にお願いをしていただきたい。

町長 我々がもつと能動的に安全・安心を守る、江北町の基盤を整備するという観点で仕事を進めていく。



30年11月の状況



水とめコンクリート擁壁

江北町タイムライン（事前行動計画）の策定について

議員 平成30年2月にタイムラインが策定されているが、職員への周知はできているか。また、課ごとにタイムラインはできているか。

総務課長 全職員への周知はできていない。

また、課ごとのタイムラインも策定していないので、今後策定の方で進めていく。

町長 策定の必要性は持っている、31年度の早い段階（雨季前）には使える形で整備をする。

鳥獣被害とその対応について



田中宏之
たなかひろゆき
議員

町長 31年度はカモ対策元年と位置付けカモの生態を含めて研究し実効性のある対策を打ち出したい

議員 我が町の基幹産業である農業に近年多大な被害をもたらしている鳥獣被害についてはすでに町としても承知していると思う。イノシシ対策としては他の市町に先駆け各地区に捕獲班の編成を推進し、その成果が出ている事は評価したいと思う。それに対しカモ対策は今いちのように思う。今年は特にカモによる麦の被害が目立っていた。特に六角川の堤防沿いの圃場を回って見るとあちこちに食い荒らされた所が目についた。町としてはカモの被害についてどれだけの認識があるのか。

産業課長 町として把握しているのは平成26年の面積が2ヘクタールで16万8千円の被害額だけ。まだ、あるかも知れないが被害の申し出があっているのはこの分である。

議員 私が思うより町で把握している被害が少ない。もつと真剣に農業推進委員にお願いして調査をすれば違った数字も出てくると思う。そこで提案だが、イノシシの捕獲班を推進したようにカモの狩猟班の推進をして若手の農家に猟銃免許を取ってもらい猟銃による駆除の回数を増やせば効果は上がると思うが町の考えは。

産業課長 町が有害捕獲の為に銃猟の免許取得を推進するのは金銭面や安全面を考えると難しい。今後の対応として、JAと情報共有を行いカモの飛来時期に定期的に巡回し威嚇や駆除を行いたい。

町長 カモ対策についても本格的に乗り出さなければいけないと思っている。31年度はカモ対策元年と位置付け猟銃による駆除だけに留まらず、カモの生態も把握しながら有効な対策を打ち出していきたい。

議員 町内には途中で切れてしまっている歩道が何ヶ所かあるが今後どうなるのか。安心・安全な町作りをモットーにしている山田町政としては如何なものか。

途切れた歩道



途切れた歩道

ふるさと納税の今後について

議員 昨年の11月から総務省の指示に従い、返礼品を地場産品に限り、又、返礼割合を5割から3割に引き下げたことからかなり寄付額が減ってしまったが町としては今後どうやって寄付者を増やしていくのか。

産業課長 先ずPR活動に力を入れたい。ティッシュ配布はすでに4万枚近く配布している。今後も続けていきたい。PR動画の制作

及び配信や首都圏での電車内広告も続いている。国が示す基準の範囲内で、より多くの返礼品を認定し品数を充実したい。又、現在1社のポータルサイトを複数にして充実させこの活用により多くの方が閲覧できるように我が町をPRしたいと思っている。

議員 このまま寄付額が減ってしまっても小中学校の給食費の無償化は続けていけるのか。

町長 確かに現在給食費の無償化にはふるさと納税の財源を充てている。仮にこの財源が尽きたとしても私の公約の1丁目1番地でもあるので財源を確保するのは容易ではないが、全力をかけて給食費の無償化の継続に努めていきたい。

井上敏文
いのうえとしふみ

議員



駅南地区、今後の宅地開発構想は

町長 今後、宅地開発のニーズがあるのか総合的に判断する



幅員 3 m の羽佐間水路北側農道

議員 本町の駅南地区

では宅地開発が進み、特に江北バイパス南地区において農地はほとんど見られなくなった。残っているのは、JR長崎線南側の農地などである。この地区の羽佐間水路北側の農道幅員は現状 3 m であるが、これを通学路として安全を確保するため、4 m 道路に拡幅計画をされている。4 m 道路となれば今より侵入してくる車両が多くなることとが予想され、また、離合も窮屈であり、かえって歩行者には危険ではないかと危惧する。私案としては、この道

路を自転車・歩行者専用道路として車道用の道路がほかにも必要ではないかと考える。町は、将来的には都市計画を視野に入れながら 2 車線の道路整備については別途検討していくと言われているが、都市計画決定を待つてからでは手遅れになるのではないかと。この水路北側の地区の道路整備について将来どのように考えているのか。

町長 当初 3 m 道路を 8.5 m で計画していたが、この路線は通学路であるため最終的には安全対策を優先し、4 m 道路で早期整備をしたい。開発を誘導できるように車道整備については、都市計画決定を待たずとも 31 年度中に検討会を立ち上げ集約し、正論を得たい。

議員 平成 5 年に大型店舗が進出したのをきっかけにその周辺は宅地化が徐々に進んだ。当時は狭い道路状況であったため、駅南地区を中心にした住宅マスタープランを策定し、それに基づきこの地区の道路網、及び上下水道等の整備を先行した。その結果、更に宅地開発が促進され定住する人が増えている。現在、江北バイパス南地区は、ほぼ宅地化された中、この住宅マスタープランによれば、町道宿ノ城ノ井樋線の東も宅地誘導



平成 5 年 駅南地区航空写真
当時、ジャスコ周辺は殆んど農地であった



平成 30 年 同上航空写真
江北バイパス南地区は殆んど宅地化された

を図っていくとなつてい。今後の宅地開発の誘導を図るため、農振除外の手続き等、宅地開発の受け皿を作っておくべきではないかと思うが。

町長 町民の中には東に伸ばさなくて南の方にとの意見もある。学校との近さも検討する必要がある。宅地開発について本町にこれからニーズがあるのか、その方向性がいのか総合的に判断しなければならぬ。これについて

議員 現在、都市計画基礎調査を県に委託されているが、本町のまちづくりの基礎となる都市計画構想の進捗は。

町長 現在、駅南地区が準都市計画区域であり、宅地開発は飽和状態である。都市計画の決定は、平成 33 年（令和 3 年）度をめどに今、各種調査、県及び関係機関との協議を進めている。

31年度江北町の国保税標準保険税率 佐賀県一高いと公表されたが



坂井正隆
議員

町長 標準保険税率を適用するのではなく平成30年度と同じ税率で据え置きをしたい

福祉課長 江北町国民健康保険運営協議会の

議員 国民健康保険の31年度市町別標準保険税率が公表された。国保は30年度から、県がその財政運営を担うことになって、標準税率として公表することになった。それによると31年度のモデル世帯、66歳夫婦2人暮らし、年金収入80万円の2人分ということで、年間の国保税は江北町が県内で最も高く4万4000円、30年度は3万5800円というふうなことになる。したが、昨年国保運営協議会の答申を受け、町長は30年3月2日に現行税率に据え置くとの説明があった。高齢化している中で31年度も同様あるいはそれ以下の税率で運営して県内で一番高い税率にならないようにしていただきたいが。

中で29年度の決算において繰越金が出たということ、それと30年度の見込みについても繰越金が見込めるということから、現行税率に据え置いた。

今回の標準保険税率を30年度のモデル世帯に置き換えて計算をすると、本町は県内で一番高いということにはならない。モデル世帯設定については、町の方としても疑問を感じている。

議員 1月26日に公表をされて、町としては異議を申すべきではなかったのか。

町長 新聞掲載の翌日なのでこのモデルなんですかねというふうなことにについては伝えている。これはきちんと正式に申し入れをしたほうがいいかなと思っている。首長の会議、そういう中에서도きちんと議題に出して議論をして

いただきたいなと思っている。モデル世帯の設定の仕方については、県にもきちんと申し入れをしたいと思っているが、当然なるべく医療費がかからないように町民の一人一人が自分の健康に留意をしていただき、しっかり健康管理に努めていただくことが、一番の近道であると思っている。



平成から新元号に変わる五月一日 記念イベントの計画は

議員 戦後、新憲法が制定され、象徴天皇として73年が過ぎ、平成から新元号へと変わる5月1日は新天皇が即位される記念すべき日である。日本中で色々なイベントが開催される事と思う。記念すべき新元号のスタートの日に町民が参加出来る記念のイベントを町長考えておられるか。

私は毎年1月1日に白木孔園初日の出登山を開催してはどうかと思うが。

町長 ぜひ町民の皆さんでぞつてお祝いしたかどうかということだと思う。半分は賛成だが、ただここはよく考えないと、いかなんと思う。整理して言うと、4月30日、5月1日は国を挙げての公式行事

が行われる中で町で祝いのイベントを、やった方がいいのかは、よく見極める必要があるのと、次何十年後になるか分からない。せっかくならば、もし、やるとすれば天候に左右されずに、皆さんとお祝いができる仕掛けにする必要があるのかなと思っている。

議員 町にイベント開催について、動機づけのつもりで質問をした。



三吉紀美子
みとまき けいこ

議員



早急な安全対策を!

町長 墓石行政を決してしてはならないと思う。
工法については関係機関に相談し、早期に結論を出し取りかかれるようにしたい。

議員 毎朝中学校正門には納塚校長先生、又小学校西門には山口交通指導員が立哨されて児童生徒の安全を守っていただいてい

が、道路が改修された事もありスピードを緩めず走る車が多く見られるようになった。
児童生徒の犠牲が出ない前に横断歩道の安全対策を是非すべきでは。

建設課長 安全対策として(一)突起部分を設けるハンプ(二)立体的な障害物にみせかけたイメージハンプ(三)外側線の内側に一本線を入れ幅員を狭く見せる事で減速を促す方法があるが、早急な対応を考えると(二)の方法が現実的と考えている。

議員 凹凸ハンプは授業中に迷惑がかかるような物音はしないう。再度の検討は。
建設課長 ハンプの検

討は当然する。

町長 町内の危険力を所をタクシーのドライバーの方にヒアリングし既に対応した所もある。墓石行政を決してしてはならないと思う。工法は関係機関に相談し早期に結論を出し取りかかれるようにする。

桜山公園道路の安全を

議員 桜山公園に通じる道路は勾配がきつくる度危険を感じる。雨の日はずっと強い。地元の意見集約を早急にしていただき、いつでも安心して上れるように。

建設課長 安全対策の平成28年の調査時には区から要望がなく事業計画に入っていない。
議員 危ない。何とかならないのかとの声が何人からも届いている。QCDとは別の考えは。

町長 平成29年度、30年度各々33カ所、平成31年度70カ所を計画。

地元区長さんと相談、確認した上で事業化については検討したい。

議員 私の議員精神としてどんな小さな声も届ける事に徹している。命の大切さという事で考えて欲しい。



(小学校正門～中学壁)

鉱害復旧施設の維持管理について

議員 六角川、牛津

川沿いに居住している住民にとって臨鉱ポンプは命綱である。

豪雨時の故障、きちつと回っているかと心配する季節が今年も来る。主要機器の耐用年数はどの様になっているか、耐用年数を過ぎた機器はあるか。耐用年数に達していない機器で更新した物件は。

建設課長 耐用年数を過ぎた機器はない。達していない主要機器の更新はない。

副町長 エンジンは45年、50年、除塵機、ゲートは25年の更新。

朽木排水機場は油漏れ状態が悪いという事で50年ではなく今年エンジンを変える計画。

基金も75億が85億になり一定の基金積立てができています。

議員 江北町かんがい排水施設運営委員会は一年に何回開催か。

建設課長 今年度は6月、12月、東古川排水機場の現地視察を開催した。

議員 極力基金有効を図る上からも耐用年数を過ぎた機器でもメンテナンス等を施し、延命を図り基金の備蓄に努めていただきたい。



(朽木ポンプ場エンジン)

他に質問

豪雨に対する対応について

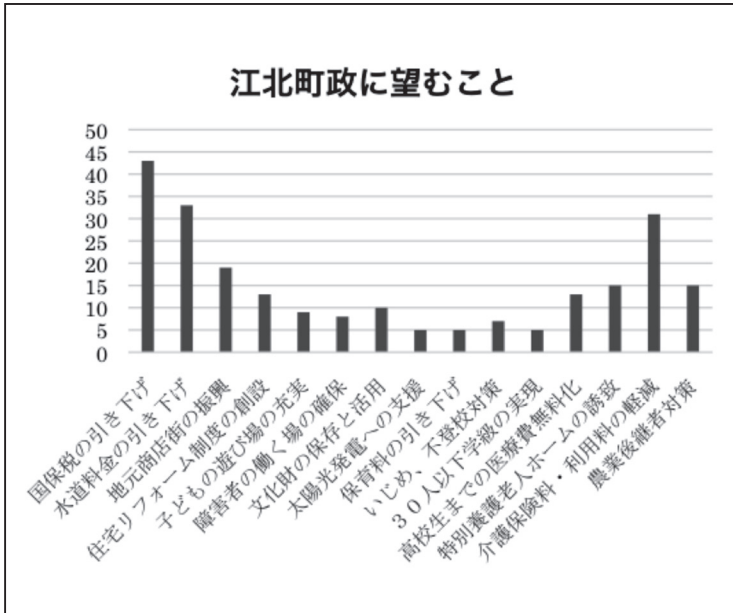
町長 今回の避難指示について、きちんとどういったら避難していただくかという事を現在進めている地区防災研修会の中できちんと意識づけをさせていただく。

町民アンケートによせられた 要望を実現してほしい!

町長 副町長などに、吟味するよう配布した



土淵茂勝
議員



議員 今年の1月から町民アンケートを、ほぼ全域に配布し、回答をいただいた。3月4日に、要望書として町長に渡した。町政に望む事、オスプレイや原発問題など国政についても意見を寄せられている。町政を運営する上で、参考にし、生かせるものは、ぜひ実現してほしい。

町長 私の立場から町政に望むことについては大変参考になった。庁内の課長会議の中で、副町長や教育長をはじめ、各課長にもコピーを全部配布し、しっかり町民のみなさんの声について吟味するようになっている。

議員 医療費無料化は町長の公約でもあった。任期まであと1年足らず、実施する考えはあるのか。又、その費用と対象人数はどれくらいと予想しているか。

福祉課長 人数は260人、金額はかなりの額が予想される。

町長 だいたい年間1千万円ほどかかると予想されるが、はつきりした数字はつかめていない。今の時点で、財源を含めて、高校生の無料化を31年度でできるという段階には来っていない。

子育て支援 少子化対策について問う!

1、中学生までの医療費無料化について

2、江北保育園の存続について

3、こどもの均等割りを大幅に軽減

議員 待機児童を作らないという観点から、段階的解消としていた町立保育園に、3歳児15名、1歳2歳児6名を受け入れるとしたことに、適切な判断として歓迎する。

この機会に、段階的解消としていた江北保育園を残すことを求める。

こども教育課長 江北保育園については、待機児童の動向を注視しながらも、民間保育所の整備に合わせて段階的に縮小していく基本的な考えはかわっていない。

議員 高すぎる国保税の引き下げの一環として所得のない子供たちの均等割りを大幅に軽減して、子育て中の若い世帯への支援を行うよう求める。その対象となる人数と、予算はいくらか。

福祉課長 高校生以下の子どもの人数は138名、均等割りをそれに掛けると658万8千円が必要。

町長 子育て支援の取り組みとしてそういう事もあると思うが、町政を預かる立場から、土淵議員の提案に組めることはできない。

池田和幸
いけだかずゆき

議員



行政改革によるまちづくり

町長 これからの職員には、時代の要請であるとか、住民のニーズを敏感に感じることをできる感性が大事である

議員 行政改革の一つに、人事、定員の削減、経費の縮減などある。だが、経営面の効果においては、地方分権や少子・高齢化への対応に対しての専門的な人材の育成や職員の政策立案の能力向上等に必要性が求められている。

就任3年間で行政運営による人事と、どのような効率化が図られてきたのか。

町長 経験がこれからの時代に応じた行政の仕事に、邪魔になることとさえある。時代の要請であるとか、住民のニーズを敏感に感じるこのことのできる感性が、これからの職員には大事である。今までの経験のないところで、新鮮な目で新鮮な感覚で仕事を取り組むこの方がいい。

また効率化は、問題が発生してから対応するのではなく、スピー

ド化とか、一歩前に進んだ業務をやっていく必要があると思う。

議員 横断的な課題等に対応するために、環境の変化に応じた組織の整備、運用やプロジェクトの活用など、適切な定員管理や職員配置の最適化を進めることが必要だと思うが。

町長 2年後には、課長10名のうち6名が一度に退職する。辞めた時の平準化で、単年度でなく、数年に分けて採用を予定している。

議員 各課の連携及び経営的な運営は進んでいるのか。

町長 政策課を創設して、企画と財政を同じ部門にし、事業の検討段階から財政的な視点も入れるという進め方をしている。そうした中で、庁内横断的な業務は一定で始めている



のではと思う。

議員 一定の専門性を持つことや町民サービスの向上に対応していくことが必要と考えるが。

町長 専門性よりも、行政全般のプロフェッショナルというものを要請していきたいと思う。

議員 事務事業でも民間委託が増え、公共施設の民間委託や指定管理者制度の導入への今後の考えは。

町長 就任当初から融和、対話、経営を3本柱にしてきたので、地域の経営という観点から、より効果的、より効率的な手段を選んでいる、指定管理は、更新もゼロベースで手段も含めて検討していく必要があると思う。

議員 町職員の配置等や町民サービスの向上に対応していくのに、民間委託や指定管理者制度の導入を増やしていくのか。

町長 単純に民間委託に切り替えるよりは、職員個々のパフォーマンスをアップすることで行政のプロを育成し、住民のニーズに応えていく。

議員 4月より課長補佐から課長代理に改称されるが、補佐以上に意識の自覚が持てるのか。

町長 切磋琢磨し、自分に一定の組織を任せてもらい、自分の力を発揮して町政の推進に貢献をしたいという職員になってもらいたい。

議員 個人差が出ると言っているが、チーム江北として一定の同じラインにつけるのか。

町長 職員全体の底上げが必要で、同じ仕事でも学びとる量が人によって違う。役場・公務員の先輩として、部下職員に指導、教育を業務の中から学びとれると思う。

一般会計及び特別会計歳入歳出予算審議

平成31年度予算 特別委員会において審議の結果、賛成多数で可決

31年度 当初予算額 57億9,600万円、30年度より3,800万円(0.65%)の減

一般会計予算Q&A

歳入

問 10月1日からの消費税増税を見込んで予算化されたものはどういふものがあるか。

政策課長補佐 自動車取得税交付金、環境性能割交付金に変わる。地方消費税交付金も影響を受ける。増税分がいくらになるか分析していない。

問 法人の数が増えたと聞いているが、どれぐらいになっているか。

町民課長 平成30年12月末現在で法人数は205件で、前年の同時期と比較すると、3号法人が2社、1号法人が5社増えている。

問 無資力の人件費250万円は、どういふふうにして出たのか。

副町長 江北町の職員

の平均の給与に対して半分の250万円としている。臨鉱ポンプの運営委員会の中でそのルールを決めた。

問 職員駐車場の今後どうされていくのか。

町長 職員駐車場の不足ということではなく、町役場の防災機能の強化ということで、あわせて検討していきたい。

歳出

問 Jアラートのあり方について、電波の状況、受信の状況が悪いということもあった。適正な管理に努めていただきたい。

総務課長 平成31年2月に新型に交換した。国との試験についても実施し、正常に国からの伝達が出来た。保守点検についても、専門業者に委託し点検し

てもらっている。昨年の7月のようなことがないように適正な管理をしていきたい。

問 空き家・空き店舗等再生による地域活性化事業はどのように進めるのか。建物

物が危険だと判断されるのであれば、近くの公民館などを利用されてはどうか提案する。

政策課長 お茶飲みサロンとして利用している建物は、31年度も借りるということで予算計上している。

町長 今の時点で閉鎖の予定はしていない。31年度の利用にあたっては、安全性を確認したい。

問 ご当地ナンバープレートとはどういうものか。

町民課長 原動機付自転車50CC、90CC、125CCのナンバープレートに江北町らしい

デザインを作成して、町をPRしていきたい。手数料150円。

問 ご当地ナンバーはいいい試みだと思つ、これはバイクだけ、車はできないのか。

町長 残念ながら、自動車は町ではできない。

問 災害の備蓄品はどこに置いているのか。被災者にどのように届けるのか。

防災管理係長 備蓄品は、上小田防災倉庫、第4部格納庫横の防災倉庫、庁舎前の別館に振り分けている。災害時どのようにするか検討中。

問 ケーブルワンの加入状況は。

企画情報係長 約1千世帯。

問 投票日の投票時間、今短縮される傾向にある。そこら辺りの考えはないか。

町長 自治意識の涵

養は大事、関係者の負担軽減ということで投票時間を短縮するのはいかなものか。

問 現在町内で成年後見制度を使つて、成年後見人、補佐人になっている方は何名か。

福祉課介護係長 後見人は10名、補佐人は1名、補助人が2名となっている。

問 地域自殺対策事業について説明を求める。

福祉課主幹 平成30年度に江北町の自殺対策予防計画を策定している。それに基づいて自殺対策の強化事業を実施する。

問 がん検診は、子宮頸がんだけか、他のがん検診も受けられるか。

保健係主幹 町としては、子宮頸がん検診委託料としてあげている。希望する方につい

ては、HPV検査も実施可能。

問 猫の去勢、避妊について、飼い猫だけが対象で、野良猫は対象外か。

環境課長 飼い猫の対策をとって、野良猫にならないようにすることが先決。避妊が1匹5千円・去勢が3千円の助成としている。

問 ごみ減量化対策事業補助金は、どういう事業に出されているか。

環境課長 給食センターの生ゴミと、観音下地区の生ゴミについて、その堆肥化するための補助を出している。

問 耐震診断事業補助金と耐震改修事業補助金は何戸分計上されているか。

建設課長 図面ありが3件、図面なしが5件、計8件を計上している。

補助率は、耐震診断費補助の分で、交付金が3分の1、県費6分の1、市町が6分の1、所有者負担が3分の1となっている。

耐震改修費補助で、交付金が11・5%、県が5・75%、町が5・75%、所有者負担が77%となっている。

問 放課後児童の対象となる人数は何人になるか。

教室の割り当てはどうなるのか。指導者の不足はないか。

子育て支援係長 登録児童数は162名。平日利用者は、そのうち138名。長期休業日の利用者は144名を見込んでいる。

通常日が児童館2教室、小学校の教室を2教室使用する。夏休みは、小学校2教室、こどもセンター3教室利用する。

職員の配置について

は、指導支援員の資格者が4名、加配の要員が10名ほど。来年は加えて夏季休業日2名加配、資格の要らない特別支援員を3名加配の予定。

問 小学校の図書室の電子化が実現した。中学校は、31年度で電子化する構想はあるのか。

町長 教育委員会でしっかり議論していただき、予算として要求があれば、必要性を確認したうえで、計上する。(賛成多数)



特別会計予算Q&A

無資力臨鉢ポンプ等維持管理事業

問 朽木排水機場のモーター取り換えは、雨季前までに完了するのか。

建設課長 雨季前までの完了は難しい。

町長 油漏れのポンプが使用不可になることも想定して事前対策を考えておくべきだ。雨季を初めとした安全対策は万全を期したい。(全員賛成で採択)

国民健康保険事業

問 平成31年度の特定健診率の目標は。福祉課主幹 50パーセントを目指している。

問 平成30年度から、県内の病院で特定健診を受けられることになったが、そのことをもってPRすれば、

受診率も上がるのではないか。

福祉課長補佐 現在、町内の医療機関でも特定健診ができる旨、圧着はがきでお知らせしている。

(賛成多数で採択)

後期高齢者医療

問 軽減措置(9割軽減)が無くなるが、その対象者は何名か。
福祉課長補佐 対象者は、201名。
(賛成多数で採択)

水道事業

問 老朽管の更新は、5件計画されているが、残りはどれくらいあるか。

町長 管の耐用年数40年を経過したものをローリングして更新しているの、積み残しがあるということではない。

(賛成多数で採択)

下水道事業

問 農業集落排水事業の工事請負費1億4,374万3千円は、処理場の更新費といふことであるが、どこを更新するのか。

環境課下水道係長 佐留志クリーンセンター内の上澄水排出装置、水中ポンプ類、また、水位計や圧力計などの計装設備類を予定している。



総務常任委員会

一般会計補正予算

路線バスの運行補助について

問 負担金及び交付金の生活交通路線運行費補助が増額になっているが。

政策課長 燃料等の高騰で額が上がってきている。基本的に赤字見合い分を各市町が負担をしている。

問 町内の方が何人利用しているのかを調べることも必要だし、病院を経由していく路線の見直しとかを協議し計画していくべきでは。

政策課長補佐 利用者については乗車・降車併せて年間2万人弱。歳入の過疎債について
問 30年度の総枠はどのくらいになるのか。



江北町循環バス

政策課長補佐 3億1,080万円借入れ見込。

問 900万円追加になった理由は。

政策課財政係長 毎年12月に不用額調査を全国的に実施。不用が少し出たということで2件の追加希望を挙げたもの。

問 この過疎債、33年度3月までという事だが、今後どうなるのか。

政策課財政係長 公園だけで2億9,000万円ぐらい借りるよう

にしている。来年度については増やす予定。臨時職員の給与・賃金について

問 用務員と司書補の賃金だが他の自治体と比べ格差がある。検討はしているか。

総務課行政係長 来年度4月以降、任用職員の位置づけを整理したい。

地域活性化補助金について

問 最初の1〜2年は会議があつたが2年前になくなった。開催をなくした理由は。

政策課企画情報係長 任期が27年度・28年度で任期が切れている。29年度は交付要綱を変更して事務的に事務を進めている。

障害者訓練等給付事業について

問 額の確定ということだが利用者が少なかったということか。

福祉課福祉係長 29年

度末が19人、今現在22人、児童発達支援も10人が13人と増えているが利用の頻度が様々で動く部分がある。

がん検診委託料について

問 減額した経緯は。

福祉課長補佐 がん検診については、横ばいとなっているが、特定検診まで含め、当初予算では3パーセントから5パーセント伸ばしたいと当初予算を計上。胃の検診については内視鏡検診が増えて

いる。町の検診はバリウム検査なので減っている原因では。

備品購入費について

問 幼稚園とるるにAEDを各1台設置ということだが職員向けに広域消防に依頼しての訓練の計画はあるか。

子ども教育課子育て支援係長

今年度B & Gで1回、職員の3分の1が参加し研修を受けている。それ以外に年2回実施。水防訓練のときとAED操作訓練のDVDを見せて全職員の研修を行っている。



うるるに設置されたAED

問 町民体育大会の賞品の件だが、開催されなかった場合、その商品の使い道として吹き矢や、サロン麻雀の大会に、賞品をだしては。

教育長 原則としては無駄にならないように

考えている。

学校管理費の委託料について

問 教職員検診で中学校はあがっているが、小学校はあがっていない。説明を。

子ども教育課学校教育係長

中学校も委託料が残っている。小学校の方が当初見込んでいた数字より予算が残っていたので減額。

特別会計補正予算

国民健康保険事業

問 今回補正をあげた分を繰り返して基金に積み立てるのか。

福祉課長補佐 基金の繰入金1,717万1千円と繰越金3,716万を足した分が黒字になる。基金繰入金に予算を計上、その残りを基金に積立てる。

産業常任委員会

一般会計補正予算

普通財産売却契約の締結について

問 岩屋住宅の上

段（有効面積は5,098平方メートル）を2,596万23円で仮契約しているが、その根拠は。

産業課長 近傍の工業用地の路線価格に、ボーリング調査費、地歴土壌調査費、分筆測量調査費を含めて算出している。

土地改良事業に関する事務委託の変更に係る協議について

問 規約を改正した理由は。

産業課長 以前の規約は4市町で協議されたもので、今回の規約は、佐賀市、小城市、多久市を含む4市7町で協議したもの。

問 3市の加入で、分水口から取水する場合、支障はないか。

産業課長補佐 昨年テストを行ったが、特に問題はなかった。

ふるさと納税推進事業費について

問 1億6,403万2千円の減額の理由は。

産業課長 主な要因は寄付件数と寄付額の減少によるもの。

農業委員会費について

問 272万9千円の減額の理由は。

農業委員会事務局長 活動実績と成果実績による報酬であるが、江北町は、農地集積が既に93パーセントあるので、成果実績の対象にはならない。

農業次世代人材投資事業について

問 100万円の減額の理由は。

産業課長補佐 農業大卒学校卒業生1名を予定していたが、希望がなかった。他に1組の夫婦が取組みをされている。今後の新規就農者としては、トレーニングファームのトマトに女性1名、きゅうりに2名行かれている。

問 本町にトレーニングファームを誘致できないか。

産業課長補佐 具体化はしていないが、農業委員会や県と話をしている。

広域環境組合負担金

問 1千万円の減額について、分別していた頃となくなっただけでは、売電収入はいくら違うか。

環境課長 ゴミの量が増えて売電料が上がっているのは事実。

問 江北町以外の業者がグリーンセンターに持って行った場合、江北町の数字に入るのか。

環境課長 事業系ゴミ

の許可を出しているのは、土井商会のみ。グリーンセンターに行く分は、各々土井商会と契約されているので、その分は江北町となる。

白アリ駆除委託料について

問 100万円の減額となっているが、減額の理由は。

建設課長 予算は、169万6千円で、入札減によるもの。

特別会計補正予算

水道事業

問 工事請負費の減額について説明を。

環境課長 老朽管更新工事は当初の設計どおり。新設管については、当初の計画と工事の実設計と違いがあったので減額した。

下水道事業

問 農業集落排水事業（機能強化）の減額補正で、国費の内示の減とはどういうものか。



畑川水路の復旧状況

町内視察

畑川水路災害復旧工事

環境課長 平成29年度の当初要望額は、1億4,500万円だが、実際3,570万円しか付いていない、その分は翌年度以降に事業を持ち越す。

無資力臨鉢ポンプ等維持管理事業

問 緑越明許費（8,792千円）の理由は。

建設課長 ポンプ能力が低いことが判明し、機種を検討に時間を要した。また、機種を変更すれば、当初予算では不足することから予算の検討に時間を要し、繰り越したとなったもの。



ネイブル内の劣化した壁



膨らんでいるブロック積状況



町道江北～大町線の復旧状況

平山区
ブロック積危険箇所

佐賀のへそ・ふれあい
交流センター「ネイブル」

条例改正

一、江北町議会議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

（人事院勧告等を踏まえて、町議会議員の期末手当の支給率を改めるもの）

一、江北町長、副町長及び教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例

（人事院勧告等を踏まえて、町特別職の期末手当の支給率を改めるもの）

一、江北町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

（佐賀県人事院会勧告を踏まえ、江北町職員の給与を改めるもの）

一、災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例（災害弔慰金の支給等に関する法律及び同法施工例の一部改正に

伴い災害援護資金の貸付利率が条例で定める率とされたこと、及び償還方法が追加されたことによるもの）

一、江北町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（課長補佐の職名を課長代理に改めるもの）



編集後記

四年間の広報委員としての責務を今回の議会だよりを最後に終える事に安堵の気持ちと町民の皆様に議員活動をしっかりとお届けする事が出来たかとの不安も隠せません。

広報委員一同毎回いかに分かり易く、読み易くするかに心を配ってまいりました。

皆様の声が届いてこそ、子や孫が誇れる町づくりが出来ると確信しております。

これからもお気付きになった事は議員にお話ししていただき、皆様と共に心をひとつ！すばらしい町づくりに向けて頑張ることが出来ればと思っております。四年間ご愛読ありがとうございました。（感謝）

（三宅）

広報委員

三宅 紀美子

土淵 茂勝

淵上 正昭

金丸 祐樹